

AIDS 2004



World Foundation Aids Research and Prevention
世界エイズ研究予防財団 日本事務所 通信



MESSAGE



世界エイズ研究予防財団理事長 リュック・モンタニエ博士



エイズについての講演をする時、私はいつも物語にあるような幸せな結末を語りたと思うのですが、現在ではまだ不可能です。でもいつかそういう日が来ると信じています。少しずつエイズのメカニズムが明らかになってきています。その中で、今直面している問題はエイズへの理解とケア、そして予防です。もし、これらが達成されれば、もうエイズを怖がることはありません。そしていつの日か「私は以前エイズ患者だった」という人が出てくるかもしれません。

Prof. Luc MONTAGNIER
エイズウイルス発見者
ルイ・パスツール研究所教授
世界エイズ研究予防財団理事長

リュック・モンタニエ博士は、ポワチエとパリで医学と科学の研究に従事。23歳でパリの科学部助手、その後CNRS(フランス国立科学研究センター)に入所し、イギリスの著名なウイルス学研究所で長期に渡り研修。

1963年、カーシャルトン科学研究所においてウイルスRNA複製のメカニズムを発見。その8ヶ月後、今日、ヒトの腫瘍細胞のクローン増殖用も含めて広く利用されている方法で凍結状態において懸濁状腫瘍細胞が増殖するというガン細胞の新しい特性をグラスゴーウイルス学研究所で明らかにした。

フランスに戻り、キュリー研究所でP. ビジエと共同でレトロウイルスである肉腫ウイルスRNAの複製と構造について研究。1972年、J. モノーの紹介でパスツール研究所にある新ウイルス学部門にウイルス腫瘍学部門を創設。

1983年、J.C. シェルマンとF. バレシヌシと協力し新しいヒトレトロウイルスを発見した。これがエイズウイルスHIVである。

1986年、リュック・モンタニエ博士のグループは、第2のエイズウイルス HIV を新たに発見。1991年、彼の研究チームは、エイズにおける活力の喪失はアポトーシス(細胞死)つまりプログラムされた細胞の死亡のプロセスによることを証明。

今日、リュック・モンタニエ博士とそのチームは、フランス並びにアフリカ、アメリカにおける数々の協力を得てローコスト治療を追求し、世界中の患者に可能なワクチンの開発に取りかかっている。

現在68歳のリュック・モンタニエ博士はCNRSの銀メダル、ガン医学ローゼン賞、レジオンドヌール、オードル・ナショナル勲章受賞者、フランス医学アカデミー会員、フランス科学研究センター研究部長。1972年よりパスツール研究所教授としてウイルス腫瘍学部門を指導し、エイズ・レトロウイルス部部長(1991年から1997年)。1997年より2001年までニューヨーク大学のクィーンズカレッジで分子生物学センターにて教授兼部長を務め、1993年にユネスコ総裁と共に世界エイズ研究予防財団を設立し、理事長を務める。

MESSAGE



日本事務所代表 林 幸泰



(財)世界エイズ研究予防財団
日本事務所 代表 林 幸泰

2003年末、UNAIDS（国連合同エイズ計画）の発表によると世界のエイズ患者、HIV感染者は、3400 - 4600万人にものぼり、同年1年間で、420 - 580万人が新たにHIVに感染したと推計されています。

我が国は、厚生労働省発表数（次ページ参照）にて世界と比較しますと、まだまだ安全な国であるといえます。しかし現在先進国において唯一感染者が増加しているのが日本であり、その中でも男性の感染者は年々増加しており、若年層への感染も広がっています。

このような状況において、定期的に厚生労働省から発表される感染者数が実数なのかと疑問に思う専門家も少なくありません。

また、経済の面からエイズをみてみますと、いったんHIVに感染者すると、エイズ発症を遅らせる薬代に年間約200万円が必要となり、社会保険はその70%をカバーするわけですから、国全体の負担は一人あたり年間140万円となるわけです。

これは、明らかに負の予算であり、地方自治体、国は、今後ますます医療費の負担増を余儀なくされることとなります。地方自治体は、各々の市民、町民をHIV感染より守り、一人あたり年間140万円の税金を守る義務があります。それには、AIDSにとって最も効果のあるエイズ予防教育を進めていくことが重要であります。

世界エイズ研究予防財団 日本事務所では、講演はもちろん、音楽やスポーツなどのイベントを通してエイズ予防活動を行っております。地方レベルでの小さな活動が、日本、さらにはアジアへの大規模な活動となることを願い、今後とも皆様と共に一人でも感染を予防できるよう教育、啓蒙活動に励みますので、ご理解、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

林 幸泰

世界エイズ研究予防財団日本事務所は、アジア地区の活動拠点としてぜひ日本に事務所を開設したいとのモンタニエ博士の強い要請を受け、1997年に岐阜県揖斐郡大野町に設立されました。

世界中に蔓延するAIDSの猛威

世界地域別エイズ患者 / HIV感染者の報告状況 (2003年末現在)



2003年12月にUNAIDS(国連合同エイズ計画)が発表した最近1年間のHIV感染者数は420万人~580万人。

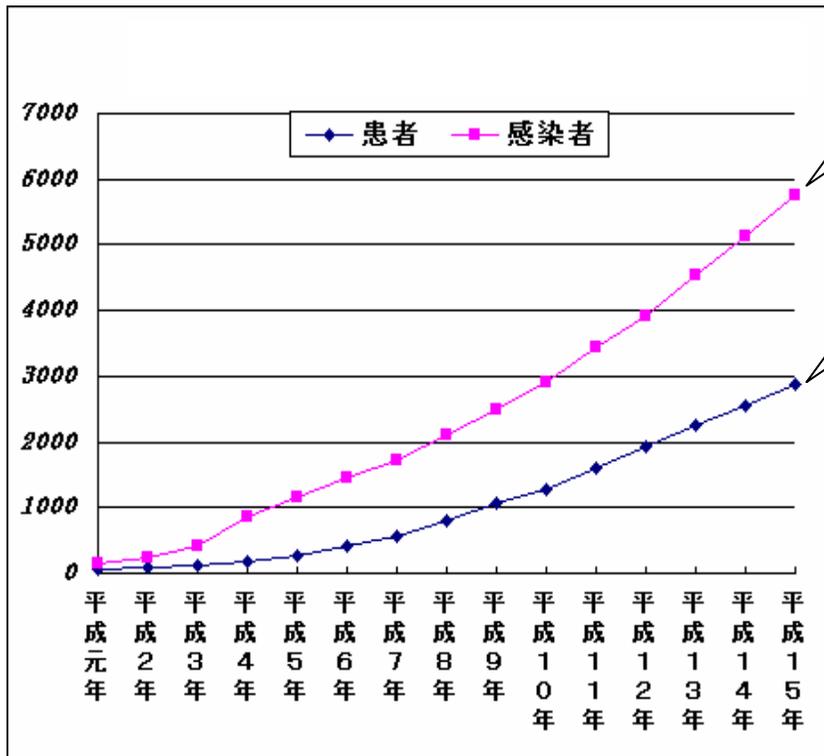
現在エイズと共に生活している人(生存中の感染者及び患者数)は、2003年末の時点で、3400万人~4600万人と推計されています。

エイズ(AIDS)とは...

Acquired(後天性)Immuno(免疫)Deficiency(不全)Syndrome(症候群)の頭文字をとった、体の免疫機能が正常に働かなくなる病気です。

日本のエイズの状況

日本のHIV感染者・AIDS患者報告数累計推移



HIV感染者数
5929人

エイズ患者数
2960人

これらの数字は、
任意の報告数な
ので実際の感染者数
はさらに多いと推測
されます。

HIV感染者及びAIDS患者の性別、感染経路別報告数の累計

HIV感染者数	男性	女性	合計
異性間の性的接触	1379	1032	2441
同性間の性的接触*1	2202	1	2203
静注薬物乱用	29	2	31
母子感染	16	14	30
その他*2	73	39	112
不明	701	622	520
HIV合計	4321	1608	5929

AIDS患者数	男性	女性	合計
異性間の性的接触	1071	236	1307
同性間の性的接触*1	737	3	740
静注薬物乱用	18	1	19
母子感染	10	6	16
その他*2	56	21	77
不明	653	148	801
AIDS合計	2545	415	2960

*1 両性間性的接触を含む

*2 輸血などを伴う感染例や推定される感染経路が複数ある場合例を含む

資料提供:厚生労働省

HIVとは...

Human(ヒト) Immunodeficiency (免疫不全) Virus (ウイルス) の略で、エイズの原因となるウイルス(病原体)です。

エイズ予防教育講演会

世界エイズ研究予防財団
日本事務所では「エイズの
最良のワクチンは教育である」という考えに基づき、小
学校やPTA等さまざまな団
体からの講演依頼を引き受
け対話を通じたエイズ予防
活動に努めております。



坂内小・中学校
(岐阜県揖斐郡坂内村)



西濃地区公立小中学校
事務職員研修大会



大野北小学校
(当財団 ymaホール)



春日中学校
(岐阜県揖斐郡春日村)



レッドリボン号
(ディフェンダー)



大垣市立北中学校
(岐阜県大垣市)



大野東小PTA家庭学級
(当財団 ymaホール)



福岡中学校
(岐阜県恵那郡福岡町)

チャリティー活動

Yoko Tokue Piano Recital Charity Concert IV

2004.2.22(日)

東京銀座 王子ホール

後援：世界エイズ研究予防財団

協賛：ジャガー・ジャパン SG信託銀行
ランドローバー・ジャパン



2001年から始まった徳江陽子さんのエイズチャリティーコンサートも、今年で4回目を迎えました。後日、コートジボアールにありますアビジャンエイズ研究センターへ、コンサートの収益金及び寄付金をあわせて3,500ドル(357,800円)を送金することができました。

第17回日本エイズ学会学術集会・総会に参加

2003.11.27(木)～11.29(土) 神戸国際会議場



一昨年、昨年に引き続き日本エイズ学会を協賛、他の民間企業およびボランティア団体に並んでブースを出展し、エイズ予防のための資料の配布、チャリティーグッズ(レドリボンバッジ、はがき)の販売等を行いました。外国の方も含めたくさんの方がブースを訪れチャリティーにご協力いただきました。

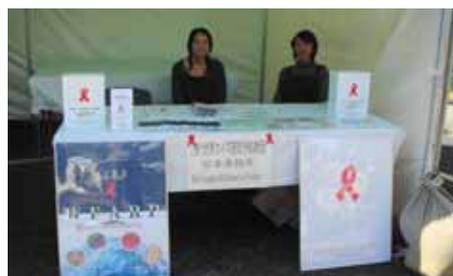


地域との連携

当財団では、平成14年度から平成16年度にかけて文部科学省の指定を受け、エイズ教育推進地域事業に力を入れている。地元の岐阜県揖斐郡大野町と協力し様々な活動を行っています。

大野まつりに参加

2003.10.4 (土) ~ 10.5 (日)
大野町町民センター前



大野まつりに大野町教育委員会の要請で参加。ブースを設置し、パンフレットの配布、大野町の中高生といっしょに募金活動を行いエイズへの理解を呼びかけました。

地元の人たちに財団の存在を知っていた、エイズについてひとりひとりに何が出来るかを考える良い機会になりました。

徳江陽子さん 子供達とのふれあいコンサート

2003.10.28 (火)

当財団 ymaホール (大里研究所内)

大野中学校の生徒約70名が、病気に対する無知が引き起こす悲劇も、病気に苦しむ人々への想いもまた、音楽同様世界共通だということを少しでも多くの人に伝えたいと熱心にエイズのチャリティー活動に取り組む徳江陽子さんのトークと素晴らしいピアノ演奏を楽しみました。



国際親善試合

岐阜県大野町レインボースタジアム

当財団では、スポーツイベントを通じてのエイズ予防啓蒙活動も行っております。日本・ニュージーランド ソフトボール国際親善大会でも、ソフトボール選手、スタッフ並びに観に来られた方々の、レッドリボンワッペンを肩につけてのチャリティー活動へのご協力をいただきました。

モンタニエ博士と子供たちのシンポジウム

モンタニエ博士と子供たちのシンポジウムは、世界エイズ研究予防財団日本事務所代表 林幸泰の司会で開会されました。

当日は天気も良く、大野町町長杉山氏の挨拶で始まり、前半は徳江陽子さんのピアノコンサート、その後に京都大学大学院教授の木原正博先生による日本のエイズの現状の説明の後、モンタニエ博士からのメッセージへと続き、当日参加していた900名の地元大野町中学生の熱心な質疑応答で幕を閉じました。



子供たちの質問に答えるモンタニエ博士(左)と通訳 本野氏

日時 : 平成15年4月19日(土) 10:00～12:00

場所 : 大野町 町民センター ふれあいホール

主催 : 大野町エイズ教育推進委員会

後援 : 大野町、大野町教育委員会
世界エイズ研究予防財団 日本事務所

Round Table Discussion

2003.4.19 (土)

世界エイズ研究予防財団 ymaホール

主催

世界エイズ研究予防財団
日本事務所

スケジュール

13:30 ~ 14:00 ピアノ演奏

14:00 ~ 16:00 Round Table
Discussion



シンポジウムに引き続き、午後からはリュック・モンタニエ博士を日本事務所に迎え、エイズについての討論会を行いました。当日は下記の参加者の他に、地元の小・中学校の先生や、主婦や学生など一般からの参加者も交えて、エイズという病気についてどのように対処していくべきか、また、エイズ予防教育はどのように行えば良いかなどのテーマで話合いました。



~ SUMMARY ~

エイズ予防教育を最も有効に行うには、13歳頃までに始めるべきである！
子供たちをエイズから守るには、子供たちとエイズについて話をしていくことが一番重要である！ “話すのが難しい”と言う前に、エイズに感染してしまった後の困難さを考えれば、大人のとるべき行動は自ずと決まってくる！

主な参加メンバー

Prof. Luc Montagnier

世界エイズ研究予防財団 理事長

Dr. Gregoire Fages

フランス大使館医学薬学担当

木原 正博 先生

京都大学大学院教授

第17回日本エイズ学会会長

三間屋 純一 先生

静岡県立こども病院診療部長

第18回日本エイズ学会会長

戸谷 良造 先生

国立名古屋病院産婦人科医長

滝川 稚也 先生

徳島大学医学部 産婦人科医

杉山 茂

大野町町長

徳江 陽子

ピアニスト

宮田 一雄

産経新聞編集局次長

Dr. Pierre Mantello

大里研究所所長

司会 林 幸泰

財世界エイズ研究予防財団

日本事務所代表

NEWS NEWS

HIV DISCOVERER

～モンタニエ博士と語ろう～

今を生きる



第18回日本エイズ学会学術集会・総会
特別公開講座

日時：平成16年12月10日(金) 17:00～19:00

場所：静岡県コンベンションアーツセンター

グランシップ(JR東静岡駅南口隣接)

主催：世界エイズ研究予防財団

共催：第18回日本エイズ学会

2004年12月9日(木)から11日(土)にかけて静岡で行われる第18回日本エイズ学会学術集会・総会において、世界エイズ研究予防財団主催の特別公開講座、～モンタニエ博士と語ろう～「今を生きる」の開催が決定しました。



世界エイズ予防教育研修会議

in 大野町



2005年5月19日から20日にかけて、岐阜県揖斐郡大野町で「人間尊重を育むエイズ教育のあり方」～小さな町から世界へ発信～をテーマに“世界エイズ予防教育研修会議”が開催されます。当財団も企画・運営に全面的に協力しています。

Aids Q&A

今までの講演会での質問をまとめてみました。

< 子供からの質問 >

Q: HIVはなくならないのですか？

.....

A: 現在は良い薬が開発されていて、いくつかの抗HIV薬をくみあわせて発症を遅らせることができるようになってきています。けれども完全に治す薬はまだできていませんし、難しいとも言われています。まずは、エイズを知って、かからないように自分の身を守ることが大切です。

Q: なぜ薬はそんなに高いのですか？

.....

A: HIV感染症の治療は現在、何種類かの薬を組み合わせでの治療が主流です。薬の摂取量も種類も多く、開発段階にある薬の多くは、まだまだ高価です。また、治療は途中でやめることはできず、精神的にも肉体的にも負担は想像以上なのです。

Q: 日本以外の先進国ではエイズが減ってきているのはどうしてですか？

.....

A: 患者数でいうと、欧米諸国のエイズの状況はより深刻です。しかし、患者数の増加により、身近でエイズで亡くなる人が増えてきたために、エイズが普通の話題として家庭でもとりあげられるようになってきました。そのような状況がエイズに対する危機意識を高め、若い人たちの無謀な行動の歯止めになりつつあるのだと思います。



< 父兄からの質問 >

Q: 低学年の子供にはどのような話をすればいいですか？

A: まずは、癌やほかの病気の話をするのと同じように、エイズという病気があり、治す方法はまだ見つかっていなくて、かかってしまうとたいへんな病気なんだよ、ということから話を始めてはどうでしょうか。そうすれば、もう少し学年が進んでから、より詳しい話が自然に出来るようになるでしょう。

Q: HIVに感染したらどのような症状がでるのですか？

A: HIVに感染しても、直後に風邪かなと思う症状がでる他は、まったく無症状の期間が平均して10年くらい続きます。その後ウィルスにより免疫力が低下すると、体の抵抗力がなくなり、健康ならなんでもないような細菌やカビなどによってさまざまな症状が引き起こされます(エイズ発症)。初期症状としては、発熱、下痢、体重の低下などがみられ、進行すると肺炎や脳炎、皮膚や内臓に斑点のする悪性腫瘍などにかかるとの代表的な例です。

Q: 歯医者で感染することはありますか？

A: 使い捨て、もしくは消毒済みの器具を使用しているので大丈夫です。心配であれば、直接先生に聞いてください。

Q: 検査はどこで受けることができますか？

A: 検査は、全国の保健所で匿名・無料で受けることができます。自分の居住地以外の保健所でもかまいません。多くの保健所は1週間に1日、平日の昼間に検査を行っていますが、夜間や週末に検査を行っている保健所もあります。インターネットや市町村の相談窓口でも、どこの保健所がいつ検査を実施しているかの情報を提供しています。また、医療機関でもHIV検査は受けられます(有料、5,000円~10,000円程度)。通常の抗体検査では、正確な検査結果を得るためには、感染の可能性のある日から2ヶ月程おいて検査を受ける必要があります。これは、感染してから約6~8週間たないと血液中に抗体ができないため、感染直後だと検出されない場合があるからです。保健所では、検査結果が出るのに通常1週間かかりますが、医療機関には、ウィルス検出による方法で即日検査を行っているところもあります。

Q: 献血で、HIV感染がわかりますか？

A: 献血でHIVが検出された場合、血液は廃棄されますが本人通知はありません。また、献血された血液は、各種ウィルス検出のため厳しい検査が行われていますが、現在の検査技術でも100%安全とは言えません。他人への感染の危険性を考えても検査代わりの献血は絶対にやめてください。

ありがとうございました

チャリティー活動の収益金及び皆さんから寄せられました寄付金は、アビジャンエイズ研究センターへ治療・研究費として送金しています。

今後ともご支援、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



アビジャンエイズ研究センター

エイズ研究センターは、世界中で最もエイズが深刻なサハラ以南のアフリカ諸国の窮状を支援するため、1996年4月、コートジボアール政府とユネスコの協力を得て、アビジャンに設立されました。

ここでは、HIV感染者、エイズ患者の検査や治療、生理科学的研究のみならず、カウンセリングやエイズ予防教育の実施も行っております。

過去の送金実績

H.11.1.8	173,825 円
H.11.9.29	322,350 円
H.12.6.12	319,800 円
H.13.6.6	218,340 円
H.13.9.4	101,340 円
H.14.3.17	267,400 円
H.15.4.2	357,800 円

寄付金はこちらまで

口座名義：ユネスコ協賛
(財)世界エイズ研究予防財団
日本事務所

銀行名：大垣共立銀行 本店

口座番号：普通 715083



世界エイズ研究予防財団 日本事務所

〒501-0501岐阜県揖斐郡大野町稲富1956 Tel: 0585-34-3850 Fax: 0585-34-3858
E-mail: wfarf@ori-japan.com Website: <http://www.ori-japan.com> 内